

**世界的データ分析コンペ「Kaggle」で
MDIS のデータサイエンティストが金メダルを獲得、Kaggle Master の称号も取得
～社員のスキルアップを支援、お客様への価値あるサービスの提案を加速～**

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：中野 隆雅、以下「MDIS」）は、世界的なデータ分析コンペティションプラットフォーム Kaggle（カグル）の「Feedback Prize - Predicting Effective Arguments」（以下「本コンペティション」）において、MDIS の社員である白浜広彬が所属したチームが金メダルを獲得しましたので、お知らせいたします。

このメダル獲得により白浜は MDIS 社員初となる Kaggle Competitions Master（カグルコンペティションマスター、以下「マスター」）の称号を取得しました。

本コンペティションは Georgia State University（米国ジョージア州立大学）の主催で 2022 年 5 月 24 日から 8 月 23 日まで開催され、米国の子供たちの文章構成の良否を AI で自動評価する課題が設定されました。具体的には米国の 6 年生から 12 年生までの生徒が書いた文章に含まれる論証の要素を"効果的"、"適切"、"非効果的"の 3 つに分類する精度を競いました。今回、白浜によるデータ前処理方法の工夫などが金メダル獲得に寄与しました。

MDIS は音声処理ソリューションにおける豊富な実績と高い技術力を強みとしております。本コンペティション参加を通じて得られる自然言語処理の知見を生かして、付加価値の高いソリューションの提供に引き続き注力してまいります。また MDIS では Kaggle への参加を通じた社員のスキルアップを継続的に支援しています。現在、マスター 1 名とエキスパート（Kaggle Competitions Expert） 4 名が MDIS に在籍しており、様々なデータ分析案件で活躍しています。

■Kaggle について

Kaggle は、Google の子会社である Kaggle.inc が運営するデータ分析コンペティションのプラットフォームで、全世界からデータサイエンティストが参加しています。金融・医療・教育など様々な分野における AI・データ分析の課題が出題され、個人またはチームで高スコアを目指して実力を競います。金メダル 1 つ、銀メダル 2 つを獲得要件とするマスターは、現在 18 万人以上のコンペティション参加者中 1900 名弱であり、その称号はデータサイエンティストの実力を示す一つの指標になっています。

■三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社（MDIS）について

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社は、金融業、製造業、流通・サービス業向けシステム事業を推進するリーディング・サービスインテグレーターとして、三菱電機グループ各社の技術力やサービスを最大限に活用した各種 IT サービス事業を展開しています。

オフィシャルウェブサイト：<https://www.mdis.co.jp/>



MDIS ブランドロゴ

■商標関連

- ・MDIS、MDIS ロゴは三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社の登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。